

宮 城 県 古 川 黎 明 中 学 校 ・ 高 等 学 校

S S H 通

探究力を備えたイノベーションリーダーの育成 ~大崎耕土に学び, 生徒自らが発見・思考・交流するプログラム開発~

令和3年度 第6号 (第2期 第13号)

令和4年3月18日発行

黎 明 サイエンスフェスティバル

2月5日(土)に「黎明サイエンスフェスティバル」が開催されました。このフェスティバルは、SSHカリキュラムのもとで探究学習に取り組んできた全校生徒の、成果発表の集大成の場となります。





当初は全日校内で実施する予定でしたが、感染状況拡大に鑑み、計画を変更して行われました。午前は学校内での発表を中心に行い、午後は自宅からwebサイト上にあげられた研究発表を視聴しあう形式で実施しました。





外部からの研究発表は、県内 SSH 校 (多賀城、仙台第三)、SGH 経験校 (気仙沼) 及び、宮城第一、古川高校が参加し、本校の自然科学部や高度な課題研究を進めるアドバンスコースの生徒とともに、事前の Web 限定公開動画の視聴、オンラインビデオ会議システムでの口頭発表を通じて、それぞれの研究内容を深めあいました。





また、古川黎明中学校の3年生は、大崎耕土課題研究の研究成果を同校 I、2年生に発表するとともに、フィールドワークで指導いただいた大崎市世界農業遺産推進課職員の三宅源行さんや古川沢田上地区の皆さんともオンラインでつながり、研究発表を見ていただき交流することができました。

さらに、本校の交流提携校であるタイ王国のプリンセスチュラポーン・サイエンスハイスクール・サトゥン校の生徒ともオンラインで英語の研究発表をしあい、昨年 I 0月に同校主催で実施された「おおさき小中学生自由研究チャレンジ」に応募した児童3名もオンラインで高校生に対して堂々と研究発表を行いました。





SSH 探究 I 社会課題発見職業人講話

令和4年2月8日(火)高校 I 学年を対象にオンラインにて、社会で活躍するために必要な資質・能力について3名の講師から実際に職業人の視点から実務と関連づけた講演をいただきました。講師は株式会社 Sport & Works トレーナー根本慎也氏、アナリスト河合辰弥氏2名と起業支援の株式会社スリーデイズ 代表取締役伊藤理恵氏の3名でした。

根本氏,河合氏は、多くの日本代表選手がプレーする 日本リーグに所属する実業団チームであるトヨタ自動車 東日本株式会社 ハンドボール部「REGAROSSO(レガロッ ソ)」と契約するトレーナー、アナリストです。

伊藤氏は,起業・創業支援(相談・セミナー開催), 企業研修,キャリアカウンセリング,産業カウンセリン グを行っています。

3名の講師からそれぞれ職業の概要や実務に必要な資質・能力について話していただきました。また、若者がこれから社会に貢献していくために、学んでほしいことや心得てほしいこととして、人工知能(AI)や情報通信技術(ICT)、物のインターネット(IoT)、ビックデータなど、様々な技術革新が実務や業界に与えた影響について、社会経験に基づいた視点から具体的に語っていただきました。

キャリア意識を高め、主体的に探究活動に取り組む姿勢に繋がる有意義な講演会となりました。

つくば Science Edge2022 銀賞受賞

高校2学年SS探究IIアドバンスコースの石川真誉さん, 吉岡利紗さん, 阿部こころさん, 須藤由字さんの研究「ベンハムのコマの色の見え方の個人差」がつくばScience Edge2022で銀賞を受賞しました。

このコンテストは自然科学系部活動を中心とした全国 の高校生の研究が集まるコンテストです。

メンバーたちは色覚は個人の感覚であるため、色の見え方の数値化が必要であると考え、ベンハムのコマの色の見え方の個人差を、RGBの割合によって示し、網膜の視細胞が色の見え方にどのように関与するかについて研究を重ねてきました。

運動部で活躍しながらも探究活動も頑張った成果が実 を結びました。今後も持ち前の主体性,アイデア,実行 力を発揮してください。

今後のSSH関連事業

○ 3/18/19 東北大学医工学研究科トランスグレー ド実習講座

○ 3/20 サイエンスキャッスル(富谷市)